

磐田市 豊田みなみ保育園 園長 寺澤 達也先生

驚きと感動。あまりの居心地の良さに、取材中は時間が経つのを忘れるくらい、あっという間のひと時でした。

豊田みなみ保育園は、平成二十年に開園され、今年で十一年目を迎えます。

平成二十八年に改築した園舎は、木のぬくもりでいっぱい、室内には陽の光が差し込み、暖色のやわらかな空間が子どもたちを包むようです。

環境への細かなこだわりも、子どもたちにとってくつろげる空間になるようにという保育者の思いにあふれていました。

始めに案内された空間は地域交流室ということで、地域の方との交流を目的とした多目的な空間ですが、まるでおしゃれなカフェにいるようで、とても落ち着きます。



定員は一八〇名、通常の保育以外にも、学童保育、発達に心配のある子の一時保育事業、園の独自事業として、資格を持つ職員が対応する相談支援事業等、地域の子育ての拠点として様々な事業を展開しています。

保育の内容は、課業として、文字を書く基礎づくりや線あそび、鉛筆の持ち方やひらがなの書き方を学ぶ『知育ワーク』。

サーキットや様々な運動遊びを通じて思い切り体を動かす楽しさ味わう『エンジヨイスポーツ』、運動能力の発達や伸びを保護者に丁寧伝えるなどし、とても好評を得ているようです。

保育空間は、今までに見たことがないアイデアがたくさんつまっていました。

腰の高さまでのおままごと遊びの空間や、秘密の抜け穴のような通路など、子ども達の目線にたった環境が遊びをより盛り上げていました。



お昼ご飯の時、園長先生が『おにぎりタイム』に向かわれました。

『おにぎりタイム?』全く想像できません。机には、おにぎりを握るセットとエプロンをつけた三名の子どもたち。

「今日はどんなおにぎりをにぎる?」そんなお話の後に一緒におにぎりを握ることで、温かくて親密な時間が生まれます。

おにぎりが出来上がると、おかずが準備され、園長先生と一緒に食事の時間が始まります。

毎日を集団でいることが多い中、子ども達に丁寧に関わりたい。ゆったり落ち着ける時間を作ってあげたい。そんな思いがたくさん伝わりました。

子ども達一人一人が満たされ、たくさん笑顔を見ることができ、幸せな時間を共有することができました。

とってもステキで、ほっこりした気持ちになりました。